

大阪府病院協会の歩み

平成7年(1995)～令和6年(2024)

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
1995年 平成7年	1.17 阪神淡路大震災で私病協との合同緊急正副会長会議(1/17、1/19、1/23)。 1.20 私病との合同理事会。救護体制の構築を検討。 1.22 被災患者受入と医療救護班編成リストを作成。 1.25 知事より医療救護班の派遣要請あり。 1.26 東灘区の御影高校と魚崎小学校に24時間体制で救護班を派遣開始。 2.23 病院倫理に関する研修会。 3. 1 兵庫県病院協会と兵庫県私立病院協会に義援金を謹呈。 3. 9 病院に対する医事紛争研修会。 4.28 新入職員研修会。 6. 1 看護に関する研修会。 6. 7 社保診療報酬に対する消費税の0%課税を要望。 8.10 病院経営管理に関する研修会。 8.31 看護専門学校の増築工事及び震災復旧工事完了。 7.17 第8回大阪病院学会「医療変革と病院の再生」。 10.27 創立40周年記念式典と祝賀会举行。 11. 9 母子医療に関する研修会。	1.17 阪神淡路大震災(午前5時46分)。 3.20 地下鉄サリン事件。 4. 9 東京で青島幸男、大阪で横山ノックが知事に当選。 5.17 厚労省が准看護師養成所に、いわゆる「お礼奉公」などの就労の適正化を求める通知を发出。 7.23 参議院選挙、自民の当選者が46名に減少。比例区で武見敬三が当選。 8. 8 村山改造改革が発足、厚相は社会党の森井忠良が就任。 9.15 朝日新聞が「准」看護師の養成をやめよ、とする社説を掲載。 10. 6 エイズ薬害訴訟で東京・大阪両地裁が和解勧告。 11.30 厚生省統計情報部が阪神淡路大震災の死亡者は5,488人と公表。死因としては、「窒息・圧死」が全体の77%を占めると。 12.22 総務庁が平成7年国勢調査速報をまとめる。10月1日現在の総人口は、1億2,557万人と。
1996年 平成8年	1.30 病院機能評価に関する研修会。 2.12 創立40年史を発刊。 3.21 改定保険点数に関する説明会。 4.18 病院における医事紛争研修会。 6. 4 新入職員研修会。 9. 5 国民の医療と福祉を守る大阪集会。 9. 7 医療制度勉強会。 10. 3 医療危機突破近畿医師会連合総決起大会。 10.25 診療報酬研修会。 11.14 看護に関する研修会。 12.16 訪問看護に関する公開講座。	1.11 村山内閣総辞職。橋本龍太郎内閣が発足、厚相に菅直人。 2.16 菅直人厚相が薬害エイズ問題で血友病患者に謝罪。 4. 1 日本医師会会長に坪井栄孝が就任。 4. 1 診療報酬改定。本体+3.4%、薬価△。包括支払制の拡大(国立病院等で1日定額方式の試行導入)。 10.20 衆議院選挙。 11. 7 第2次橋本内閣発足、厚相は小泉純一郎が就任。
1997年 平成9年	2. 8 最近の医療事情についての勉強会。 3.21 診療報酬改正点数に関する説明会。 3.27 病院における医事紛争研修会。 4. 1 病院協会事務所を現在の天王寺区六万休町に移転。 4.15 米国の医療事情についての講演会。 7. 2 病院経営に関する研修会。 7.16 働く女性のための研修会「ジャーナリスト大宅映子氏講演会」。 9. 3 健康保険法等9月改正に関する説明会。 9.18 病院経営に関する研修会。 10.12 第9回大阪病院学会「少子・高齢時代のヘルスケアリフォーム」。 11.17 介護保険制度に関する研修会。 12.16 看護に関する研修会。	4. 1 消費税が3%から5%に引き上げ。 4. 1 消費税引き上げに伴う診療報酬改定(臨時特例的改定)。消費税引き上げ分0.77%。 4. 日医総研が活動を開始。 9. 1 健保本人の負担が1割から2割に。老人の外来負担も引き上げ。 9.11 第3次橋本改造内閣発足、厚相は小泉純一郎が継続。 9.19 中医協が原則公開を決定。 11.22 山一証券破綻。 12. 9 医療法改正成立。「患者への説明と同意」条項、地域医療支援病院制度の創設など。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
1998年 平成10年	2. 9 病院経営に関する研修会。 2.10 私病と合同で、「医療対策審議会」対策検討合同委員会を設置。急性期・慢性期療養ベッド数対策を検討。 3.23 診療報酬改正点数に関する説明会。 4. 健保法改正による外来患者数影響調査の結果を報告。私的病院は患者数増32%、患者数減68%。公的病院は患者数増61%、患者数減39%。 5.15 保険診療に関する講習会。 5.23 病院給食の院外調理と危機管理に関する勉強会。 5.24 医療法改正に関する研修会。 5.28 DRGに関する勉強会。 5.30 今後の看護行政に関する研修会。 6.16・18 新入職員研修会。 10. 1 病院における医事紛争研修会。 10. 5 高齢者ケアシステムセミナー。 10.19 病院経営に関する研修会。 12.16 病院環境に関する研修会。	4. 1 診療報酬改定。本体+1.5%、薬価△2.8%、計△1.3%。医療費の縮減策に薬価が組み込まれ、診療報酬改定財源に振り替えられなくなる。長期入院の是正と検査・画像診断の適正化。高齢者の6か月を超える一般病床への入院に包括点数が新設。 6.10 厚生省が急性期入院医療定額払い方式試行のための診断群分類、183分類を中医協に報告。 7.12 参議院選挙で日本医師連盟推薦の宮崎秀樹が落選。 7.30 小渕恵三内閣が発足、厚相は宮下創平。 9.18 中医協総会、国立病院等を対象とした急性期入院医療定額払い方式試行(11月1日実施)を答申。 11. 1 国立仙台病院など10県10病院で急性期入院医療定額払い方式の試行開始(国立病院8、社会保険病院2)。
1999年 平成11年	3. 8 医療経済に関する研修会。 3.12 看護婦等雇用管理者研修会。 5. 「HOS・MAP99」を発刊。 5.20 病院経営に関する研修会。 5.27、6.3 新入職員研修会。 6.24 大阪府の救急医療体制整備に関する説明会。 6.30 脳死心臓移植特別研修会。 7.15 大阪府医療関係団体・人権問題等検討委員会発会式。 7.17 医療保険制度に関する講演会。 7.31 病院経営に関する研修会。 9. 4 医療制度に関する講演会。 10. 3 第10回大阪病院学会「医療ビッグバンー保健・医療・福祉の新たな分化和連携ー」。 10. 4 バルプロ・バック・フリス氏の特別講演会「最新のスウェーデン事情」。 10.14 医療機関におけるコンピュータ西暦2000年問題講演会。 10.23 介護保険制度に関する講演会。 10.30 病院環境に関する研修会。 11.13 中小病院情報交換会。 12. 大阪府病院協会ニュース発刊350号。 12.13 診療情報の提供に関する病院研修会。	1.14 小渕改造内閣発足、厚相は宮下創平が継続。 2.28 臓器移植法に基づく初めての脳死臓器移植が行われる。 4. 日医が「診療情報の提供に関する指針」を医師が順守すべき倫理規範として制定。 4.13 自民党医療基本問題調査会・社会部会合同会議が薬剤定価・給付基準額制(日本型参照価格制度)の導入を撤回。 6.11 合計特殊出生率が1.38、肺がんによる死亡数が胃がんを抜く。 7. 3 労働白書が発表され、「医療・福祉分野」を雇用創出効果が高いことが見込まれると指摘。 8. 9 日の丸を国旗、君が代を国歌とする国旗・国歌法が成立。 10. 5 自民・自由・公明3党の連立政権による小渕第2次内閣が発足、厚相は丹羽雄哉が再任。 11.26 予防接種集団訴訟が大阪訴訟和解で集結。 12. 横山ノック大阪府知事がわいせつ事件で引責辞任。
2000年 平成12年	1.25 病院環境に関する研修会。 3.28、30 診療報酬改定点数に関する説明会。 4. 1 大阪社会保険事務局がスタート。 5.19 新入職員研修会。 5.20 「チーム医療」実践セミナー。	4. 1 介護保険制度スタート。 4. 1 診療報酬改定、医科1.9%、薬価△1.7%、計0.2%。大病院の外来に紹介制、入院基本料の新設。 4. 1 自公が自由党との連立を解消。 4. 2 小渕首相が脳梗塞で入院。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2000年 平成12年	6.29 医療機関におけるリスクマネジメントに関する研修会。 7. 3 医療オンブズマンに関する研修会。 7.31 診療報酬改定に関する研修会。 8.24 Day Surgeryに関する研修会。 9.28 院内感染防止対策に関する研修会。 11.10 診療情報の提供に関する研修会。 11.16 人権啓発リーダー養成のための人権研修会(第1期)。 11.30 医事紛争の発生と予防に関する研修会。 12.9、10 大病協看護専門学校未入学者研修講座。 12.10 診療情報の提供に関する研修会。	4. 5 第1次森喜朗内閣が発足、厚相は丹羽雄哉が継続。 7. 4 第2次森内閣が発足、厚相は津島雄二が就任。 7.28 日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会による「四病院団体協議会(四病協)」が発足。 11.30 健康保険法改正成立。老人患者一部負担の見直し(月額上限付き1割負担導入=定額負担との選択制)。 12. 5 森改造内閣発足、厚相に公明党の坂口力が就任。
2001年 平成13年	1.30 医療とIT革命に関する講演会。 2. 1 リスクマネジメントに関する研修会。 3.23 グローバルスタンダードに関する研修会。 3.24 医療情報に関する講演会。 3.30 第四次医療法改正に関する研修会。 4.17 「日本の医療の行方」に関する研修会。 5.11 新入職員研修会。 7.13 「看護必要度」に関する研修会。 8. 2 「がん診療」に関する研修会。 9.16 第11回大阪病院学会「21世紀の病院像」。 9.27 「判例から見た医療事故」に関する研修会。 10.31 「自由診療・ガン保険」に関する研修会。 11.15 「我が国の医療保険制度」に関する研修会。 11.23 大阪城ホールで「医療制度改革に反対する大阪府民1万人集会」が開催され、病院協会も参加。 12.8、9 大病協看護専門学校未入学者研修講座。 12.18 「看護」に関する講演会。	1. 6 中央省庁再編、1府12省庁スタート。厚生労働省発足。 1. 6 省庁再編に伴い22審議会を8審議会に統合。社会保障審議会が発足。 3. 5 厚生省の高齢者医療制度等改革推進本部が「医療制度改革の課題と視点」まとめる。 3. 6 宮崎秀樹が参議院議員に繰り上げ当選。 4.26 第1次小泉純一郎内閣発足、厚相は坂口力が継続。聖域なき構造改革が始まる。 6.21 政府の経済財政諮問会議が骨太の方針まとめる。高齢者医療の総額の伸びを抑制する方針示す。 7.30 参議院選挙で日本医師連盟が推薦する武見敬三が当選。 9.25 厚生省が「医療制度改革試案」を公表。健保本人負担を3割への引き上げや高齢者医療制度の対象を70歳から75歳に段階的に引き上げるなどの案を示す。 11.29 政府与党の社会保障改革協議会が「医療制度改革大綱」を公表。
2002年 平成14年	1.31 「九州大学信友浩一教授」による研修会。「医療の質は誰が保証するのか」 2.26 「ホスピス」に関する研修会。 4.3、4 診療報酬改定点数に関する説明会。 5.16 新入職員研修会。 7. 4 「病院経営」に関する研修会。 8. 2 「主傷病と副傷病」に関する研修会。 8.16 「褥瘡対策」に関する研修会。 9. 7 医療安全推進研修会。 10.31 「リハビリテーション」に関する研修会。 11.19~ 第1回看護職員実務者研修を国立循環器病センターで開催。 12. 4 病院におけるリスクマネジメント研修会。 12.15 大病協看護専門学校未入学者研修講座。 12.18 日本の血液事業に関する講演会。	4. 1 診療報酬改定、本体△1.3%、薬価△1.4、計△2.7%。史上初の本体マイナス改定。 4. 1 健康保険法等改正成立。被用者保険本人3割負担、3歳未満2割負担、老人患者1割負担の徹底。外来薬剤一部負担廃止。 9.17 小泉首相が北朝鮮を訪問。 9.30 小泉改造改革発足、厚相は坂口力が継続。 10.15 北朝鮮から拉致被害者5人が帰国。 12.12 政府の総合規制改革会議が第2次答申。医療経営への株式会社への参入と混合診療容認は見送り。 12.17 厚生省の医療制度改革推進本部が「医療保険制度改革試案」を公表。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2003年 平成15年	3.31 インフォームド・コンセントと人権問題に関する研修会。 4.24 新入職員研修会。 7.18 リスクマネジメントに関する研修会。 9. 7 第12回大阪病院学会「病院新生」。 10. 1 大阪府立病院の名称が「府立急性期・総合医療センター」に変更。 12. 7 大病協看護専門学校未入学者研修講座。 12.13 医療安全推進研修会。 12.17 「笑いの科学」講演会。 12.18 医療法人制度に関する講演会。	2.26 中医協総会で厚相が特定機能病院の包括制導入を諮問。対象病院は大学病院、国立がんセンターなど82病院と答申。4月実施。 4. 1 健保本人が3割負担に。 4. 3 厚労省が新型肺炎SARSを新感染症に認定。 6. 1 診療報酬改定、再診料・外来診療料の月内逓減制を廃止等。 9.22 小泉改造改革発足、厚相は坂口力が継続。 11.19 第2次小泉内閣発足、厚相は坂口力が継続。
2004年 平成16年	1.26 看護必要度に関する研修会。 3.22 診療報酬改定点数説明会。 4. 1 大阪府が所管する保健所・支所が統合され、11保健所に。 5.10 新入職員研修会。 10.16 医療安全推進研修会。 11.10 大阪府病院薬剤師会幹部と大病・私病の合同懇談会。 11.19 病院経営に関する研修会。 11.25 国民医療を守る大阪府民集会。混合診療の解禁を阻止。 12.12 大病協看護専門学校未入学者研修講座。 12.14 「患者中心の開かれた医療を目指して」講演会。	4. 1 日本医師会会長に植松治雄が就任。 4. 1 診療報酬改定、医科±0、薬価△1.0%、計△1.0%。 4.14 中医協をめぐる歯科の贈収贈事件が発覚。 9.27 小泉改造内閣発足、厚相は尾辻秀久が就任。 9.28 中医協「贈収贈事件に係る中間報告」公表し、「贈収贈事件で政策決定がゆがめられることはなかった」と。 12.27 尾辻厚相と村上誠一郎特命担当大臣が「中医協の在り方の見直しに係る基本的合意」を結ぶ。 10.23 新潟県中越地震が発生。
2005年 平成17年	1.22 医療安全推進指導者講習会。 2. 1 堺市と美原町が合併。 2.28 「病院会計準則」に関する研修会。 3. 7 個人情報保護法に関する研修会。 4.26 新入職員研修会。 6. 6 医療の情報化に関する研修会。 7.14 改正育児・介護休業法・次世代法説明会。 8.24 医療制度改革に関する研修会。 10. 2 第13回大阪病院学会「国民に理解され支持される病院」。 11.24 患者負担増を阻止する大阪府民集会。 12. 2 診療報酬改定と病院経営に関する研修会。 12.16 大阪府におけるエイズ医療の現状と課題に関する講演会。	3.25~9.25 愛・地球博(愛知万博)。 4. 1 個人情報保護法が全面施行。 4.26 日本病院団体協議会が発足。 7. 7 内閣府が初の株式会社医療参入特区「かながわバイオ医療産業特区」の認定を発表。 8. 8 郵政民営化関連法案が参議院で否決。小泉首相が衆議院を解散。 8.15 終戦60周年。 9.21 第3次小泉内閣発足、厚相は尾辻秀久が継続。 10.19 厚労省が「医療制度改革試案」を公表。 10.31 小泉改造内閣発足、厚相は川崎二郎が就任。 11. マンションやホテルの耐震強度偽装事件が発覚。
2006年 平成18年	1.14 医療安全推進指導者講習会。 2. 9 大阪府病院協会創立50周年・大阪府私立病院協会創立30周年合同記念式典・祝賀会(リーガロイヤルホテル)。大阪府病院協会が知事表彰を受賞。 3.27 診療報酬改正点数に関する説明会。 4. 1 看護専門学校に2年課程通信制を開設。 4.27 新入職員研修会。 12.19 看護の専門性とチーム医療に関する講演会。 12.26 院内感染防止対策講習会。	4. 1 日本医師会会長に唐澤祥人が就任。 4. 1 診療報酬改定、本体△1.36%、薬価△1.8%、計△3.16%。史上最大のマイナス改定。中医協に病院代表2名が参加。病診の初診料の統一、7対1入院基本料の導入など。 6.14 健康保険法等改正成立。患者負担の見直し(就学前児2割負担、70~74歳2割負担、現役並み所得の老人3割負担など)。 9.26 安倍晋三内閣発足、厚相は柳澤伯夫が就任。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2007年 平成19年	1.24 「このままでは壊されてしまう日本の医療」大阪府民集会。安心して受診できる皆保険制度を守る。 1.27 医療安全推進指導者講習会。 4. 1 大阪府が「医療安全相談センター」を設置。 4.18 新入職員研修会。 7.27 病院における医療廃棄物の適正処理説明会。 11.11 第14回大阪病院学会「大阪の医療の継続と質の向上を目指して」。 12.25 病院における危機管理に関する講演会。	2.16 公的年金保険料納付記録に約5,000万件の該当者不明が判明。 3. 7 中医協新体制。支払側7名、診療側7名、公益6名に。 7.16 新潟県中越沖地震。 7.29 参議院選挙。日本医師連盟推薦の武見敬三が落選。国民新党の自見庄三郎が当選。 8.27 安部改造内閣発足、厚相は舩添要一が就任。 9.26 福田康夫内閣発足、厚相は舩添要一が継続。 10. 1 郵政民営化がスタート。
2008年 平成20年	1.19 医療安全推進指導者講習会。 3.27 診療報酬改正点数説明会。 4.17 新入職員研修会。 5.16 病院協会などが加盟する大阪府地域医療推進協議会が橋下大阪府知事に対して「財政改革プログラム試案に対する要望書」を手交。福祉医療助成事業に1割負担を導入し、所得制限を強化することは到底容認できないと反対の考えを示す。 7.26 医療崩壊を阻止する大阪府民集会。①社会保障費の年2,200億円削減を撤廃、②国民の生命と健康を守るための医療費財源の確保、③国民皆保険制度の堅持—を求める決議を採択。 7.28 公明党との政策懇談会。 9. 2 舩添厚生労働大臣と語る会。「日本の医療を崩壊させないために」をテーマにパネルディスカッションが行われ、病院の立場から大道大先生が意見を述べた。 9.25 近畿病院団体連合会が「社会保険診療報酬にかかる消費税非課税制度の廃止を求める要望書」を、厚生労働大臣や国会議員などに提出。 12.15 病院経営に関する講演会。	1.27 大阪府知事に橋下徹当選。 1.29 社会保障国民会議の第1回会合（座長：吉川洋）。 4. 1 後期高齢者医療制度がスタート。 4. 1 診療報酬改定。本体0.83%、薬価△1.2%、計△0.37%。勤務医の負担軽減策として医師事務作業補助体制加算が新設。7対1入院基本料に看護必要度と医師配置基準を導入、満たさないときは10対1入院基本料を算定。 8. 2 福田改造内閣発足、厚相は舩添要一が継続。 9.15 リーマン・ブラザーズが経営破綻。 9.24 麻生太郎内閣発足、厚相は舩添要一が継続。 10. 1 全国健康保険協会（協会けんぽ）が発足。 11. 4 社会保障国民会議が最終報告を公表。 12.24 持続可能な社会保障構築とその安定財源の確保に向けた中期プログラムを閣議決定。
2009年 平成21年	1.17 医療安全推進指導者講習会。 2. 2 救急医療現場で起こる迷惑行為を考える講演会（第1回）。 3.19 近畿病院団体連合会が「臨床研修制度見直しについての要望書」を、厚生労働大臣・文部科学大臣などに提出。 3.30 大病・私病が橋下大阪府知事に対して「救急勤務医手当導入促進事業」における大阪府補助についての要望書を提出。 4.24 新入職員研修会。 7. 6 救急医療現場で起こる迷惑行為を考える講演会（第2回）。 9. 5 医療安全推進指導者講習会。 10. 4 第15回大阪病院学会「甦れ日本の医療～大阪からの発信～」。 12.21 文化講演会「長寿は得たけれど」。	4.19 大阪維新の会が発足。代表は橋下徹。 5.21 裁判員制度がスタート。 6.11 WHOが新型インフルエンザの警戒レベルを最高のフェーズ6に引き上げ。 8.30 衆議院選挙。民主党が圧勝、政権が交代。 9. 1 消費者庁が発足。 9.16 鳩山由紀夫内閣発足、厚相は長妻昭が就任。 10.26 中央社会保険医療協議会の人事で、日本医師会の委員全員が外される。
2010年 平成22年	2. 2 改正育児・介護休業法及び改正次世代育成支援対策推進法についての説明会。 2.23 教育担当者向け「若手職員の定着化を図る現場指導力向上」研修。	1.19 日本航空が会社更生法の適用を申請。 4. 1 日本医師会会長に原中勝征が就任。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2010年 平成22年	3.19 診療報酬改正点数説明会。 4.16 新入職員研修会。 6. 9 第1回新公益法人制度検討委員会。 8. 3 大病・私病の合同医療制度特別検討委員会救急検討分科会及び保険医療協議会合同委員会。 10.31 学習講演会と難病医療相談会。 11.30~12.2 医師事務作業補助者研修。 12.21 文化講演会「笑って元気に100まで生きよう」。	4. 1 診療報酬改定。本体1.54%、薬価△1.36%、計0.18%。民主党政権による政治主導の改定。 5.28 鳩山内閣が普天間飛行場の辺野古移設を閣議決定。 6. 8 菅直人内閣発足、厚相は長妻昭が継続。 7.11 参議院選挙。日本医師連盟が推薦・支援した西島英利、安藤孝夫、清水鴻一郎が落選。 9.17 菅改造内閣発足、厚相に細川律夫が就任。
2011年 平成23年	1.29 医療安全推進指導者講習会。 2.10 教育担当者向け「若手職員の定着を図る現場指導力向上」研修。 3.11 「病院内における迷惑行為と法～判例を踏まえた対応方法～」講演会。 4.28 新入職員研修会。 7.13 臨時代議員会。一般社団法人への移行を承認。 10.16 第16回大阪病院学会「医療・介護のあるべき姿を求めて～大阪からの発信～」。 10.22 医療安全推進指導者講習会。 12.22 文化講演会「生きている」を見つめる医療。 10.29 日本の医療を守るための総決起大会。	1.14 菅改造内閣発足、厚相は細川律夫が継続。 3.11 東日本大震災。 4. 5 自民党が民主党との大連立を拒否。 4.22 福島第一原発20km圏内を立入禁止区域に。 9. 2 野田佳彦内閣発足、厚相は小宮山洋子が就任。 10. 7 厚労省が社会保障改革推進本部を設置。 11.27 大阪のダブル選挙で、大阪市長に橋下徹、大阪府知事に松井一郎が当選。
2012年 平成24年	2.23 教育担当者向け「若手職員の定着化を図る現場指導力向上」研修。 3.26 診療報酬・介護報酬改正点数説明会。 4.19 新入職員研修会。 5.10 近畿病院団体連合会が、消費税の引き上げ方針が決定されたことを受け、「消費税負担を診療報酬で手当することに断固反対する」との声明文を発表。 8.29 大病・私病合同研修会。 12. 8 医療安全推進指導者講習会。 12.19 文化講演会「超高齢化社会における医療」。	1.13 野田改造内閣発足、厚相は小宮山洋子が継続。 4. 1 日本医師会会長に横倉義武が就任。 4. 1 診療報酬改定。 6. 4 野田改造内閣発足、厚相は小宮山洋子が継続。 10. 1 野田改造内閣発足、厚相は三井辨雄が就任。 12.26 第2次安倍晋三内閣発足、厚相は田村憲久が就任。
2013年 平成25年	2.26 教育担当者向け「若手職員の定着化を図る現場指導力向上」研修。 4. 1 一般社団法人大阪府病院協会が発足。 4.18 新入職員研修会。 10.20 第17回大阪病院学会「大阪の医療・介護の進化」。 11.30 医療安全推進指導者講習会。 12. 9 国民医療を守るための集会。 12.19 文化講演会「MAIDO!! 大阪の看護力」。	3.31 国の借金が1,000兆円の大台を突破。 4.24 うめきたの「グランフロント大阪」が開業。 5. 4 こどもの日に合わせて、15歳以下の人口が32年連続で減少していることを発表。 9. 7 2020年オリンピックの東京開催が決定。
2014年 平成26年	3.11 東日本大震災の被災者への支援活動の功績が認められ、大阪府病院協会が厚生労働大臣から感謝状が授与された。 3.25 教育担当者向け「若手職員の定着化を図る現場指導力向上」研修。	4. 1 消費税が5%から8%に引き上げ。 4. 1 診療報酬改定。本体+0.73%、薬価△0.63%、計0.10%。入院基本料7対1の実効性ある削減、地域包括ケア病棟など。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2014年 平成26年	3.26 診療報酬改定点数説明会。 4.18 新入職員研修会。 10. 病床機能報告制度が導入されることになったことに伴い、アンケート調査を実施、148病院から回答を得た。今回の診療報酬改定で新設された地域包括ケア病棟の届出は少数であることが判明。 12. 8 国民医療を守るための集会。 12.22 文化講演会「患者と医療者が協働する医療を目指して」	7. 1 集団的自衛権の行使を条件付きで容認する政府見解を閣議決定。 9. 3 安倍改造内閣発足、厚相は塩崎恭久が就任。 11.18 安倍首相が2015年10月の消費税10%への引き上げを2017年4月に延期すると表明。 12.14 衆議院選挙。 12.24 第3次安倍内閣発足、厚相は塩崎恭久が継続。
2015年 平成27年	2.25 教育担当者向け「若手職員の定着化を図る現場指導力向上」研修。 4.17 新入職員研修会。 6.10 メディカル・スタッフの専門資格取得及び待遇に関するアンケート調査の結果まとまる。認定看護師が「いる」病院は58.0%であった。 8. 8 医療事故調査制度に関するセミナー。 8.27 医事課実務研修会「医療分野におけるマイナンバー制度実務対応」。 11.15 第18回大阪病院学会「2025年大阪の医療提供体制への提言」。 12.16 文化講演会「みんなで紡ぐ地域包括ケア」。	3.13 トワイライトエクスプレスが1989年7月以来の運航を終了。 5.17 大阪都構想の是非を問う大阪市の住民投票、僅差で否決される。橋下市長が政治家引退を表明。 9.19 安全保障関連法成立、集団的自衛権の行使を容認。 10. 5 マイナンバー法施行。マイナンバー通知カードを配付。 10. 7 安倍改造内閣発足、厚相は塩崎恭久が継続。 11.22 大阪府知事と大阪市長のダブル選挙。知事に松井一郎、市長に吉村洋文が当選。
2016年 平成28年	2.24 職員育成に必要な指導力向上研修。 3.30 診療報酬改定点数に関する説明会。 4.22 新入職員研修会。 10.24 大阪府医療勤務環境改善支援センター第1回運営協議会。 12.21 文化講演会「2025年に向けた看護の将来ビジョン」。	4. 1 診療報酬改定。本体+0.49%、薬価△1.33%、計△0.84%。入院基本料7対1の重症度、医療・看護必要度の見直しなど。 4.14 熊本地震。 8. 3 安倍改造内閣発足、厚相は塩崎恭久が継続。 8. 8 天皇陛下がビデオメッセージで生前退位の意向を表明。
2017年 平成29年	1.31 「スポーツと心身の健康」講演会。 3. 1 職員育成に必要な指導力向上研修。 3. 9 ORIONの意義と運用状況についての説明会及び意見交換会。 5.12 新入職員研修会。 8. 2 病院職員実務者研修「正念場を迎えた病院経営」。 9.21 講演会「インフォームド・コンセントについて考える」。 11.12 第19回大阪病院学会「夢のある高齢社会を目指して」。 12.20 文化講演会「医師会が進める地域包括ケアシステム」。	2. 9 森友学園へ国有地を格安で売却したことが判明。 4. 2 地域医療連携推進法人創設。 2.17 安倍首相が森友問題について、私や妻が関係していたならば、首相も国会議員も辞めると発言。 7. 2 東京都知事選挙。知事に都民ファーストを率いる小池百合子が当選、自民党惨敗。 8. 3 安倍改造内閣発足、厚相は加藤勝信が就任。 10.22 衆議院選挙。 11. 1 第4次安倍内閣発足、厚相は加藤勝信が継続。
2018年 平成30年	2.16 職員育成に必要な指導力向上研修。 3.20 近畿病院団体連合会が、「医師の働き方改革に係る要望書」を厚生労働大臣に提出。時間外労働規制について、人々の命と健康を守るという医業の特殊性に配慮するよう求める。 3.29 診療報酬・介護報酬改定点数に関する説明会。	4. 1 診療報酬改定。本体+0.55%、薬価△1.74%、計△1.19%。医療と介護の同時改定。介護報酬では介護医療院を創設。 4. 1 大阪市交通局が民営化。 9. 4 台風21号が上陸。関空連絡橋にタンカーが衝突。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2018年 平成30年	4.19 新入職員研修会。 8. 6 病院職員実務者研修会「地域包括ケアシステムに対応するための看護師の役割」。 10. 5 講演会「診療報酬改定から見る医療制度改革の方向性」。 12.20 記念講演会「笑いとの医療」。	10. 2 安倍改造内閣発足、厚相は根本匠が就任。 11.24 2025年の万博を大阪で開催することを決定。1970年以来、55年ぶり。 12.23 平成最後の天皇誕生日。以後は祝日が削除され平日になる。
2019年 平成31年 令和元年	2.15 職員育成に必要な指導力向上研修。 3.13 臨時総会特別講演会「これからの医師の働き方～新しいパラダイム」。 4.12 新入職員研修会。 9.17 講演会「診療報酬改定2018の病院経営への影響と消費税・診療報酬改定2020への対応」。 10.27 第20回大阪病院学会「大転換期の日本と医療」。 12.18 記念講演会「人口減少時代に向けた急性期医療における栄養療法の意義」。	4. 7 大阪府知事選挙、吉村洋文が当選。大阪市長選挙、松井一郎が当選。 4.30 平成天皇が生前退位。 5. 1 皇太子殿下が即位。令和と改元。 9.11 安倍改造内閣発足、厚相は加藤勝信が就任。 10. 1 消費税を8%から10%に引き上げ。消費税の引き上げに伴う診療報酬改定。本体+0.41%。
2020年 令和2年	2.13 職員育成に必要な指導力向上研修。 9. 9 大病・私病合同実施の「COVID-19病院経営影響度調査」を公表。52病院から回答があり、対前年同月比で医療収入は4月△11.12%、5月△19.17%、医療利益は、4月△11.14%、5月△16.10%であった。 9.17 新型コロナウイルス感染症が病院経営に極めて厳しい状況をもたらしているとして、大阪府病院協会・大阪府私立病院協会・大阪府医療法人協会の3会長の連名で、大阪府知事に対して、病院経営の支援策を講じるよう要望書を提出。 9.25 病院経営影響度調査の結果がMEDIFAXに掲載され、「コロナの病院経営の影響 大阪でも深刻」と報道される。 11.11 役員研修会「新型コロナウイルス感染症患者の治療の現状について」。	1. 6 中国の武漢で原因不明の肺炎。厚労省が注意を喚起。 1.14 WHOが新型コロナウイルスを確認。 1.15 日本国内で初めて新型コロナウイルス感染を確認。 1.30 WHOが緊急事態を宣言。 2. 3 新型コロナウイルスに感染した乗客が乗ったダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に入港。 4. 1 診療報酬改定。本体+0.55%、薬価△1.01%、計△0.46%。新型コロナウイルス対応の診療報酬。 4. 7 7都府県に緊急事態宣言。 6.27 日本医師会会長に中川俊男が就任。 9.16 菅義偉内閣発足、厚相は田村憲久が就任。
2021年 令和3年	3. 大病と私病が、「COVID-19病院経営影響度調査」を実施。令和2年3月～12月の状況を対前年度と比較した調査結果を公表。外来患者数は、すべての月でマイナスとなっており、特に5月が△28.7%、4月が△21.5%であった。入院患者数も、すべての月でマイナスになっており、5月が△20.7%、6月が△15.0%であった。医療収入は、5月が△10.17%と最も大きな影響を受けていた。 4.～ 新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養施設への医師派遣を開始。大阪府私立病院協会及び大阪府医師会と協力して24時間体制での医師派遣に協力。令和3年3月31日で終了したが、この間、実施したオンライン診療は12,447件にのぼった。 6. 9 定時総会特別講演会「日常診療における説明責任～トラブルにならないための説明と同意」。 11. 7 第21回大阪病院学会「コロナを越えて羽ばたこう!大阪の医療」。コロナのためWEB開催に変更。 12. 8 大病・私病共催の特別講演会「国際マシギャザリングイベントに向けた感染症対策」「COVID-19に学ぶ～国際イベント開催における注意点を含めて」。	2.17 新型コロナワクチンの国内接種始まる。医療従事者。4万人に先行接種。 7.23 東京五輪が開幕。新型コロナの影響で史上初の1年間延期で開催され、日本は金メダル27個で、歴代最多となる。 8. 6 国内の新型コロナの感染者数が累計100万人を突破。夏以降は感染力が強い変異ウイルス「デルタ株」が流行し、医療提供体制が逼迫した。 9. 1 DX推進のためデジタル庁を設置。 9.30 19都道府県に発令していた新型コロナの緊急事態宣言と8県に対する蔓延防止等重点措置が解除。 10. 4 新首相に岸田文雄が就任。厚相に後藤茂之が就任。 11.30 新型コロナの新たな変異株「オミクロン株」の感染拡大を受け、政府は外国人の新規入国を原則停止。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2022年 令和4年	3.24 診療報酬改定に関する説明会。 5.13 大病・私病共催の特別講演会「トラブルを防ぐカルテの書き方」。 7. 4 全日病大阪府支部と共催の講演会「医療現場におけるサイバーリスクと今後のセキュリティ対策」。 9. 6 全日病大阪府支部と共催の講演会「働き方改革のために病院としてやるべきこと」。 10. 5 光熱費などの物価高騰に対して医療機関を支援するよう求める要望書を大阪府知事に提出。 10.14 光熱費などの物価高騰に対して医療機関を支援するよう求める要望書を大阪市長に提出。 11.27~ 大阪市から大病・私病に対して「日曜・祝日・年末年始」の発熱外来の整備を要請され、17病院が協力。 2月末日 開設日数は延べ214日、受診者数は3,783人、うち新型コロナが1,035人、インフルエンザが928人、両方が7人であった。	2. 5 新型コロナウイルスのオミクロン株が流行し、1日の新規患者数が初めて10万人を超える。 2.12 将棋の藤井聡太が19歳6か月で5冠を達成。 2.24 ロシアがウクライナに侵攻。 4. 1 診療報酬改定。本体+0.43%、薬価△1.37%、計△0.94%。看護の処遇改善、リフィル処方箋導入、不妊治療の保険適用など。 4. 1 改正民法が施行され、20歳の成人年齢が18歳に引き下げ。 6.25 日本医師会会長に松本吉郎が就任。大阪の茂松茂人が副会長に就任。 7. 8 奈良市で参議院選挙の応援演説中であった安倍晋三元首相が銃撃され死亡。 8.10 岸田改造内閣発足、厚相は加藤勝信が就任。 10.20 32年ぶりの円安、1ドル150円を突破。
2023年 令和5年	4. 4 大阪府医師会と病院団体が物価高騰・食材料費への支援の要望書を大阪府知事と大阪市長に提出。 6. 7 大阪府医療法人協会と共催の講演会「医療提供体制改革としての医療法人改革を見極める～医療法人経営情報開示制度創設の狙いを考える」。 10. 8 第22回大阪病院学会「あるべき日本の医療 示そう大阪の病院から」。 11.20 全日病大阪府支部と共催の講演会「発展を続けるAI—その可能性とリスク」。 11.22 大阪府地域医療推進協議会主催による「国民医療を守るための集会」。物価高騰や賃上げ、技術革新への対応には十分な原資が必要であると。 11.27 記念講演会「新型コロナと対峙して 今、伝えたいこと」。 12. 1 大阪府知事と大阪市長に対して「重点支援地方交付金」の活用について、要望書を提出。大阪府三師会や病院協会など7団体連名。光熱費等の支援と食材料費への支援を求める。 12.18 全日病大阪府支部と共催の講演会「診療報酬・介護報酬の改定(特に栄養ケアについて)」。	1. 4 岸田首相が異次元の少子化対策に取り組む考えを表明。 2.21 岸田首相がウクライナのキーウを電撃訪問。 4. 1 こども家庭庁が発足。 4. 9 大阪府知事に吉村洋文が再選。大阪市長に横山英幸が当選。 5. 8 新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げ。 5.19 7か国首脳会議が広島市で開催。 8.24 東京電力第一原子力発電所の処理水の海洋放出を開始。 9.13 岸田改造内閣が発足、厚相に武見敬三が就任。自見花子も地方創生・沖縄北方・万博担当大臣に就任。 10. 1 消費税のインボイス制度開始。 10. 1 米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手が44本塁打で日本人初の本塁打王に輝く。 10.11 将棋の藤井聡太が史上初の八冠。 11. 5 阪神タイガースが38年ぶりの日本一。
2024年 令和6年	1. 9 病院関係五団体新年互礼会、4年ぶりに開催。284名が参加。 1. 9 大阪府が「物価高騰一時支援金」(令和5年度2回目実施分)の支給申請始める。病院及び2床以上の有床診療所は、15,000円×許可病床数。診療所等は定額30,000円。 1. 9 大阪府が「食材料費高騰対策一時支援金」を支給。診療報酬改定までのつなぎ支援。すべての病院と有床診療所に、6,400円×許可病床数。 1.17 木野昌也会長が「メディカルジャパン2024大阪」で「深化する関西圏の医療～2040年への課題と解決」と題して講演。 2.22 職員育成に必要な指導力向上研修。4ぶりに開催。	1. 1 能登半島地震(震度7)、津波被害甚大。 1. 2 羽田沖で日航機と海保機が衝突炎上。 1.13 台湾総統選で頼清徳が新総統に選出。 2.16 政府が令和5年の国内総生産(GDP)を公表。ドル換算した日本の名目GDPがドイツに抜かれて世界第4位に後退。 2.29 大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手が結婚を発表。 3.16 北陸新幹線、金沢～敦賀間が開業。 3.19 厚生労働省が2022年12月末日現在の医師数を公表。女性医師の割合が23.6%に増加。

年次	大阪府病院協会の歩み	国内医事など
2024年 令和6年	3.29 大阪府知事から大阪府病院協会を含む医療関係団体に新型コロナ対応で「感謝状」が贈呈される。	4. 1 診療報酬改定。本体+0.88%、薬価△1.00%、計△0.12%。ベースアップ評価料、地域包括医療病棟の新設など。介護報酬・障害福祉報酬とのトリプル改定。
	4.22 診療報酬改定に関する説明会。	4. 3 台湾の東部沖でマグニチュード7.4の地震が発生。
	4.23 新入職員研修会。	6. 5 厚生労働省が令和5年の人口動態統計(概数)を発表。合計特殊出生率が過去最低の1.20に下落。
	5.13 大阪府が「食材料費高騰対策一時支援金」を支給。診療報酬改定までの措置。すべての病院と有床診療所に、3,200円×許可病床数。	6.21 政府は「骨太の方針2024」を閣議決定。社会保障費は、経済物価動向に配慮し、各年度の予算編成過程で検討する方針示す。
	5.15 大阪府病院協会創立70周年、大阪府私立病院協会創立50周年の合同式典、記念講演、祝賀会を開催(リーガロイヤルホテル)。270名が参加。	7. 3 日本銀行は20年ぶりとなる新紙幣1万円、5千円、千円の発行を始める。
	6.12 令和6年度定時総会。木野昌也会長が再任(2期目)される。	7. 7 東京都知事選。現職の小池百合子が3期目の当選を果す。
	6.12 理事会。看護専門学校2年課程通信制の定員を令和7年度から250名から150名に変更することを決定した。	7.26 厚生労働省が昨年の日本人の平均寿命は、女性が87.14歳、男性が81.09歳と発表。女性は39年連続で世界第一位。
	9.11 日本国際博覧会協会から「大阪・関西万博」医療救護診療所への医師の出務について協力要請があった。病院協会として、2か所の診療所の出務について協力することを決めた。	7.26 パリ五輪開幕。
	11.12 人件費増と物価高騰支援、病院薬剤師確保について大阪府知事に要望書。	9.19 大谷翔平、米大リーグ初の「50-50」。
	11.25 臨時総会を開催し、看護専門学校の閉校を承認。2年課程通信制:令和7年度の入学生で閉科、3年課程:令和8年度の入学生で閉科する方針。	10. 1 石破内閣が発足、厚相に福岡資麿が就任。
	11.26 永年勤続記念講演会。博覧会協会の堺井啓公・担当局長が「大阪・関西万博について」講演し、多数の来場を呼びかけた。	10.15 闇バイト強盗相次ぐ。
	12.13・16 大阪府知事と大阪市長に、国の「重点支援地方交付金」を活用した病院への支援を要望。	10.27 衆院選、与党過半数割れ。
		11. 5 アメリカ大統領選挙、トランプ氏が返り咲き。1月20日就任。